学びのひろば旭 vol.17

旭市教育委員会

庶務課（☎55-5721）
学校教育課（☎55-5724）
生涯学習課（☎55-5727）
体育振興課（☎64-1132）

当たり前のことを当たり前にやる！
～秋田県大仙市から学ぶ～

本市小中学生の学力向上に役立てようと、昨年11月に秋田県大仙市を視察。文部科学省が行う全国学力・学習状況調査で常にトップレベルの成績を収める、秋田県小中学校の学習指導や家庭学習の状況を調査してきました。

大仙市の家庭・子どもの特徴はこれだ！

1　当たり前のことを当たり前にやる

学校に行ったら授業中は勉強する、家に帰ったら宿題や自主学習をやる「当たり前のことを当たり前にやる」という学習に向かう基本的な姿勢ができていました。「秋田県の家庭では、親が言わなくても自分から家庭学習を始める」との声が聞かれました。「学びは大切だ」という意識が、小さいころから子ども本人だけでなく、家庭にも十分に浸透している様子でした。

2　「ひと勉」で学習習慣

では、家庭での学習習慣はどう習得されていくのか。キーワードは、宿題とは別に行う「一人勉強ノート（通称：ひと勉）」です。小学校１年生の後半から始めるそうです。

基本的な考え方としては「とにかく毎日やる」「学習内容を自分で考える」の２点。子ども自身ができる範囲で学習内容を決めるため、負担にはならないとのことでした。

ひと勉を掲示

各小中学校の学級では、毎日のひと勉から「これは！」と思うものを掲示し紹介します。友達の優れたひと勉を児童生徒が目にすることで、学習内容のレベルアップも図られ、学習習慣が学級の全員に定着していく様子が見られるとのことでした。

3　入学前から集中力アップ

保育所や幼稚園に通うころから、家庭で保護者が本の読み聞かせを行うそうです。本の内容を想像しながら聞くことで、集中力が身に付き、学習の基礎となる読書力が習得されていくとのことでした。また親子の会話の時間を多く取り、人の話を集中して聞く態度を身に付けさせたり、自分の話を聞いてもらえる喜びを味わわせたりしているそうです。これは、授業では話をしっかり聞くという学習態度の基礎・基本につながります。

旭市の取り組み「学力向上リーフレット」を発行

教育委員会では、家庭学習としての「自主学習（自学）」の取り組みを重視しています。各小中学校を通して、児童生徒がいる家庭に学力向上リーフレットを配布しました。

家庭と学校とで協力して、子どもの学習環境を整え、その習慣を確立していきたいと考えています。

学力向上リーフレット

校長リレーエッセイ ⑦

幽学先生の子育て

萬歳小学校長
木村 仁

干潟地域に大原幽学記念館があることはご存知のことと思います。農村指導者として有名な幽学先生は「換子（かんし）教育」というユニークな子育て法を提唱した人物でもあります。これは、７～15・6歳の子どもを対象に、１～２年かけて一人の子どもを数軒の家で育てるようにしたものです。自分の子も他人の子も区別しないで育てていこうという信念の下、19か条の子育ての心得を掲げ、その実践を促しました。その一部を紹介します。

●子どもには愛情をかけよ。
●口で教えると口で覚えるので、行いを示して教えよ。
●食事について意地汚くならないように心掛けよ。
●子どもに人の悪口を話させるな。
●人に呼ばれたときは、必ず返事をさせよ。

150年以上も前のことですが、現代にも通じる内容ではないかと思います。

本校は創立140年目を迎えた、全校児童数81名の小さな学校です。保護者や地域の方々から物心両面にわたるご支援をいただき、どの子も素直で元気いっぱいに過ごしています。また学年や男女を問わず仲良しで、学校全体に心地よい温かさが感じられます。

こうした学校の雰囲気は、一朝一夕につくられたものではないように思います。幽学先生が活躍したこの地域だからこそ、今の萬歳小学校が存在するのではないか、そんなことを考えている今日このごろです。